第５学年　ありまなビジョン

◆学校教育目標◆

夢をもって未来を切り拓く　調和のとれた子どもを育てる

めざす児童像	知 主体的に考え学び合う有馬の子	徳 心豊かで思いやりのある有馬の子	体 健康でたくましい有馬の子
学年目標	自分から学びに向かい、互いに学び合うことができる子	お互いを大切にし、思いやりをもって関わることができる子	健康な体で、毎日を元気に過ごすことができる子

◆研究主題◆

みんなで協力し、たくさん体験して、自分たちの力で夢を実現しよう

～関わりあい・語りあい・高めあい～

◆教科等横断的な学習活動◆

【総合】
「有馬米を育てよう!」
田植えや稲刈りなどの体験を通して、米ができるまでの過程や農家の工夫について学ぶと同時に、水の管理や天候の影響などの自然とのかかわりを考える活動も行う。

【国語】
- 田植えや稲刈りの体験を文章にまとめたり、調べ学習の成果を発表したりする。
- 米作りに関する本や資料を読むことで語彙力や表現力を高める。

【社会科】
「有馬米を育てよう!」
- 稲を育てる過程を通して、日本の農業の仕組みや課題、農家の方々の工夫や努力について理解を深める。
- 体験活動を通して、農業における機械化や効率化の工夫、気候や水資源との関係、地域の農産物としての米の位置づけなど、教科書だけでは伝わりにくい「現場のリアル」を実感しながら学ぶ
- 地域の人々との関わりを通して、社会の中で様々な役割を果たす人々の姿を知り、地域社会のつながりや支え合いについて学ぶ。

【算数】
- 田んぼの広さ、必要な水量、収穫量の計算、収穫量の割合などを学ぶ。
- 生育記録や収穫量をグラフ化して視覚的にとらえる。

【理科】
- イネの成長や成長過程を通して、植物の成長条件やしくみを学ぶ
- イネの成長に必要な水や天候、環境との関係に注目する。

【家庭科】
- 米を使った料理や調理体験、食の大切さ・感謝の気持ちを学ぶ。
- バランスの良い食事や米の栄養について理解を深める。

◆子どもの実態（学習面・生活面）をふまえた学年経営の方針◆

本学年の児童は、自分の考えを言葉にして伝える力をもち、様々なことに興味や関心をもって主体的に学ぼうとする姿が見られる。学習への意欲は高く、前向きに取り組む姿勢が育っている。一方で、学力や理解のスピードには個人差があり、きめ細やかな支援が求められる。

学級内には、気心が知れた安心感があり、自然に助け合える温かな雰囲気が育まれている。この人間関係のよさを活かし、互いに学び合い、認め合う中で成長していける学年づくりを目指していきたい。その一方で、仲の良さがゆえに気が緩みすぎる場面も見られるため、けじめある行動や自律の意識を高める指導も重視していきたい。